



◆ 早崎百合子 議員

問 認知症サポーター養成講座の受講者の現状は。

答 公民館単位で巡回型認知症講座を開催している。早期発見・治療へのツールとして有効であったと考えている。

問 タッチパネル式コンピュータ（物忘れ相談プログラム）の活用方法と導入の効果は。

答 平成20年度からスタートし、現在84回開催。小学生を含む2728人が受講している。

問 普及啓発活動の展開方針は。

答 広報養老・ホームページに加え民生児童委員・老人クラブ・いきいきサロン・介護サービス事業所・居宅介護支援事業所などに声をかける。

水防倉庫・防災備蓄倉庫の管理は

町長 地域と協働し点検、情報共有



町内の水防倉庫

答 町と地域との協働で備蓄品等の管理・点検を行い情報共有する。

問 防災備蓄倉庫のチェック管理責任者は。

答 点検の結果、12箇所の修繕が必要であると判断。緊急性の高いものから数箇年計画で順次補修していく。

問 水防倉庫の河川許可標・河川同意標識の管理体制は。

答 37箇所の設置がある。定期的に国土交通省へ申請を行い、随時更新しながら適正に管理している。

問 水防倉庫の維持管理は適正に行われているか。

答 起こりうるべき災害に備え水防倉庫・防災備蓄倉庫の充実管理体制の強化に関心を持って重視していく必要があると感じている。水防倉庫・防災備蓄倉庫の存在は自助・共助を実現するための資材確保にとって重要だと思われる。

町長

現況を踏まえ各種団体にPR

認知症予防施策・

普及啓発は



◆ 松永 民夫 議員

問 スーパーサンシは農地転用、開発許可が平成29年2月28日に認可されたが、その後の進捗状況及び事業計画は。また、対象の用地は現在放置されているが管理責任はどこか。

答 当初の計画では、平成29年7月に事業に着手し建設工事の計画であった。2年程経過した現在、事業は行われていない。テナントの交渉中であることから、一日も早く着手されることを期待している。用地の管理は農地転用の許可時点において、転用事業者へ移ると考える。

問 サラダコスモ誘致の農地転用、開発許可は平成29年9月5日に認可されている。今後の事業計画は。

答 平成31年3月22日に事業に着手し、来年3月末に工場の建設が完了予定。一部用途変更の申請を行っている。その後レストラン、物産販売等の施設を整備していく予定。



スーパーサンシ事業予定地（国道258号線沿い）

問 清華苑の利用が年々減少している。利用状況及び収支状況は。近隣市町と比較すると使用料が高い。清華苑の今後の運営方針は。

答 元嘱託職員の預り金1000万円は慎重に事務処理し、今年3月1日に一般会計への入金を終了した。相殺後の残額約29万円、遅延損害金約135万円は督促や法的措置など顧問弁護士の助言を得て対応していく。

厳しい清華苑の運営は

町長 経費削減、利用促進に努力

答 式場利用状況は昨年度50%を下回っている。また、経営経費収支状況は過去3年平均568万円の赤字となっているなか、今後、火葬炉及び屋根の防水工事で6500万円ほど必要である。そのため、利用体系を見直し、東半館利用で祭壇変更の場合、現行の3分の2の料金とし、利用促進を図りたい。また、柔軟なサービス提供のため、民間事業者への委託も調査研究していく。

問 平成30年9月定例会の補正予算で、清華苑の損害賠償金1050万円が議決されたが、その後の経緯、結果は。